提出第３号

公益財団法人丹後地域地場産業振興センターの経営状況を説明する書類の提出について

地方自治法（昭和２２年法律第６７号）第２４３条の３第２項の規定により、公益財団法人丹後地域地場産業振興センターの経営状況を説明する書類を別紙のとおり提出する。

令和８年９月３日提出

京丹後市長　中　山　　泰

# 令和７年度事業報告書及び収支決算書並びに
# 令和８年度事業計画書及び収支予算書

公益財団法人　丹後地域地場産業振興センター

# 令和７年度

# 公益財団法人丹後地域地場産業振興センター事業報告

## 総括的概要

令和 7 年度の日本経済は、長期化する物価高騰やエネルギー・原材料価格の上昇に加え、米国を中心とした保護主義的な通商政策の強まりによる輸出環境の不透明感などにより、中小事業者を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続きました。

一方で、インバウンド需要の回復や観光需要の持ち直し、政府による賃上げ・地域経済対策等を背景に、地域経済においては緩やかな回復の動きも見られました。また、生成 AI をはじめとするデジタル技術の進展により、情報発信や業務効率化への DX 対応が地域事業者にも求められる一年となりました。

こうした中、（公財）丹後地域地場産業振興センター（以下「地場産センター」という。）は、各事業が地域事業者の具体的な課題解決と収益力向上に直結するよう、実効性を重視した事業展開を図りました。

展示普及・販路開拓事業においては、農林水産物直売コーナー等の充実や売場レイアウトの改善を実施しました。特筆すべきは、地元新鮮野菜の販売が好調に推移し、当センターが従来のいわゆる「お土産屋さん」から地域住民に「日常使いされる場所」へと進化したことです。日常的なご来店により、お客様が地場産品に触れる機会が増加し、そこで得られた購買データや声が次なる顧客ニーズの把握に繋がる好循環を生み出しており、センター全体の事業収益は前年度比 105.0%を達成しました。

また、オンライン販売においては、EC サイト販売が前年比 108.6%と伸長した一方、ふるさと納税は前年と同水準の取扱額を維持し、安定した販路として寄与しました。

地域ブランドの推進を担う「Tango Good Goods」認定事業においては、本年度 35 事業者 55 商品を認定し、見本市では 4,800 人の来場と過去最大規模となる約 334 万円の売上を記録しました。本年度の実績から得られた最大の教訓は、独りよがりの商品づくりではなく、「消費者が今、何を求めているのか」という顧客ニーズを的確に捉えることの重要性です。マーケティング視点を持った「売れる商品づくり」へと地域全体で転換を図るため、これまでの体制を見直し、全認定事業者を対象とする「Tango Good Goods 認定事業者会」の設立に向けた組織再編を行いました。

京丹後市食品加工支援センターにおいては、製造相談件数が 70 件と大幅に増加し、稼働当初の試作・技術習得段階から、本格的な製造・事業化フェーズへと着実に移行しました。一方で、小ロット加工ゆえの手数料が高止まりし、地元の一次産業者をはじめとする丹後地域内事業者の利

用が伸び悩むという課題が浮き彫りとなりました。この現状を打破し、丹後地域内事業者に真の貢献を果たすため、「地域外からの大口受注で利益を確保し、その利益を還元して丹後地元事業者向けの手数料負担を下げる」新たな事業改善スキームへの転換に着手しました。

また、年度当初に発生した異物混入事案や、導入当初から続く設備の不具合を重く受け止め、指定管理最終年度となる次年度に向けて「食品安全事故ゼロ」を最重要目標に掲げました。製造ロスの原因となっている設備不具合の解消に向け市と協議を進めるとともに、徹底した品質管理体制の構築により、安全で信頼される施設運営を目指します。

DX 推進事業においては、公式ホームページへの AI 活用型ページ作成システムの導入や、SNS 投稿自動化システムを構築し、情報発信業務の効率化と発信頻度の向上を図りました。さらに、全職員による業務の棚卸しを実施し、次年度以降の業務改善に向けた課題を明確化しました。

以上のとおり、令和 7 年度は各事業の成果と直面する課題を明確にするとともに、丹後地域事業者の支援体制を抜本的に見直す契機となりました。本年度構築した改善スキームや新たな組織体制を基盤として、次年度（令和 8 年度）の重点施策である「稼ぐ力」の強化へと着実に歩みを進め、丹後地域の産業振興と経済活性化に引き続き邁進してまいります。

以下、本年度の各事業実績について報告いたします。

# Ⅰ　新商品・新技術開発事業（公益目的事業１）

## 1　丹後地域新商品・新技術開発支援事業

加工食品の保存性向上や価格の適正化など、丹後地域が抱える課題の解消を図るため、加工支援センターを活用し、新商品・新技術の開発、試作品及びパイロット商品の製造を行いました。

また、販路開拓事業を通じて収集した消費者情報を基に、既存商品の改良及び新商品の開発支援を実施しました。

### ■ （1）　京丹後市食品加工支援センター運営事業

令和 5 年 1 月から稼働している加工支援センターを活用し、丹後地域内事業者の試作及び商品開発を支援するとともに、食品製造に関する相談対応を行いました。

稼働当初の約 2 年間は、製造技術の習得と商品の試作・開発に重点を置いて取り組みました。令和 7 年度からは、これまでの取組を踏まえ、製造及び収益化のフェーズへ移行し、実際の商品製造と販売につながる支援を強化しました。

また、丹後地域内事業者への利用促進を目的として、Tango Good Goods 見本市や商談会等に

出展し、加工支援センターの取組や成果品の周知を行いました。さらに、地場産センター売店内の専用販売コーナーの充実・強化に取り組み、成果品の展示販売を通じて、丹後地域における食品製造への関心を高めるとともに、事業者の参加意欲の喚起を図りました。

試作商品数は前年度を下回ったものの、製造商品数、製造相談件数及び地場産センター売店での販売商品数はいずれも増加しており、試作・開発段階から製造・販売段階への移行が進みました。

**【令和 7 年度実績】（前年度）**

| 製造商品 | 試作商品 | 製造相談 | 累計商品数 |
|---|---|---|---|
| **42 商品**<br>（39 商品） | **18 商品**<br>（35 商品） | **70 件**<br>（22 件） | **64 商品**<br>（49 商品） |

・アミティ売店販売：累計 21 商品（9 商品）

資料 1（別冊）

なお、令和 7 年 4 月 3 日に加工支援センターで製造した「京丹後いちごサイダー」464 本のうち、販売後に 2 本において充填機部品由来と推定される異物混入が確認されました。

販売本数 144 本に対し、未販売分等 317 本及び地場産センター保管分 3 本を回収するとともに、京都府丹後保健所へ相談し、食品衛生申請等システムによる公開回収手続きを行いました。

再発防止に向け、パッキン類の定期交換、点検記録、異常時報告及び製品完成時の目視確認を徹底するとともに、専門家による作業工程及び機材取扱いに関する確認・研修を実施し、同様事案の再発防止に向けた管理体制を整備しました。

また、今回の異物混入事案とは別に、炭酸飲料製造ラインについては、導入当初からキャップの締まり不良やラベル貼付の歪みが発生するなど、機器の精度及び安定稼働に課題が見られています。これらの不具合は、製造ロスの発生や作業効率の低下につながるだけでなく、商品品質への不安、施設及び商品の信用低下、さらには製造を依頼された事業者への影響にもつながりかねないことから、今後の施設運営上の重要課題として整理する必要があります。

令和 8 年度は指定管理期間の最終年度として、「食品安全事故ゼロ」を最重要目標に掲げ、衛生管理、設備点検及び職員研修を徹底するとともに、炭酸飲料製造ラインの安定稼働に向け、現場で発生している不具合や製造ロスの状況を市と共有し、必要な改善方策について協議しながら、安全で信頼される施設運営に取り組みます。

### ■ （2） 丹後地域加工食品品質向上連絡会

丹後地域の加工食品製造者の商品開発、加工技術の向上及び販路開拓支援を促進することを目

的に設立され、同連絡会において地域の食品加工に関する課題を共有し、解決に向けた方策を検討するとともに、加工支援センター事業の評価を行いました。

**【令和７年度実績】**

・開催日：令和７年８月２７日（水）

・会場：地場産センター2 階 研修室 D

・主な議題：加工支援センターの状況、連携・情報共有

### ■ （3）　食品加工技術研究開発事業

食品加工技術の高度化を図るため、レトルト食品開発技術に関する知識向上を目的とした研究を実施しました。

研究を通じて蓄積した知識や技術情報は、地域内外の食品製造事業者に提供し、付加価値の高い地場産品の製造及び商品開発の支援に役立てました。

### ■ （4）　高機能急速冷凍装置導入による新サービス開発事業

平成 27 年度に地場産センター内に整備した高機能急速冷凍装置を活用し、丹後地域の食品加工業者、飲食・宿泊業者、小売業者等に対して、冷凍技術を活用した商品開発や販路拡大を支援しました。

令和 7 年度は、利用事業者数及び利用回数が前年度を上回り、既存商品の品質保持や冷凍流通商品の展開に加え、新たにおせち商品の冷凍流通での利用がありました。

また、利用者のうち 1 事業者が、ふるさと納税 3.0 を活用して自社で高機能急速冷凍装置を導入するなど、同装置の活用が地域事業者の設備投資や事業展開にもつながりました。

・活用実績：19 社、延 139 回（前年度：13 社、128 回）

・新たにおせちの冷凍流通商品の利用があった。

・利用者のうち１件がふるさと納税 3.0 を活用し自社で同冷凍装置を購入した。

## Ⅱ　人材育成事業（公益目的事業１）

伝統産業である織物業や基幹産業である機械金属製造業をはじめ、地域事業所及び商店街等の維持・再生・発展を図るとともに、地域特性を活かした未来志向型の産業及びワークスタイルの創出を促進するため、以下の人材育成事業を実施しました。

また、これらの取組を通じて、新たな産業・事業所の創出及び雇用・就業機会の拡大を図りました。

## 1　創業支援事業

平成 26 年度から創業支援事業として創業支援窓口を開設し、京丹後市をはじめとする関係機関・団体と連携しながら、創業希望者等に対する相談対応、指導及び情報提供を行いました。

## 2　手機講習会の開催

研究開発棟に設置している手機を活用し、丹後地域の伝統産業である機織りに関する講習会を開催しました。

本講習会では、織物体験に対応できる講師の育成を目的として、織り上げた作品を手機から外し、房を作る工程について実習を行いました。

**【令和 7 年度実績】**

・開催日：令和 8 年 3 月 3 日（火）
・内容：織り上げた作品を手機から外し、房を作る工程
・参加者：4 人

## 3　染色講習会の開催

染色グループ「網野染色研究会 茜」の活動拠点として、地場産センター丹後染色開発室を提供するとともに、染色技術の向上及び次世代の育成を図りました。

また、地域内における染色への関心と興味を高めるため、藍染め体験教室を開催しました。2 日間で 30 人が受講し、そのうち 2 人が新たに網野染色研究会 茜の会員となるなど、染色文化の継承及び担い手の育成につながりました。

**【令和 7 年度実績】**

・開催日：令和 7 年 11 月 2 日（土）・3 日（日）
・会場：地場産センター染色開発室
・内容：タオル、T シャツ、マフラーの藍染め
・参加者：30 人
・新規会員：2 人

## 4　丹後地域生産者・製造者レベルアップ支援事業

京都府織物・機械金属振興センターとの共催により、丹後地域の加工事業者等を対象に、販路開拓に資する加工技術に関する研修を実施しました。

本研修を通じて、事業者の技術力及び商品開発力の向上を図るとともに、丹後地域全体の食品加工分野における総合的なレベルアップを支援しました。

### ■ （1）　食品品質向上セミナー

丹後地域の事業者を対象に、食品品質の向上及び商品開発力の強化を目的として、食品品質向上セミナーを開催しました。

本セミナーでは、「健康は食事のひと工夫と意識改革から」をテーマに、食と健康に関する知識を深めるとともに、消費者ニーズを踏まえた商品づくりについて学ぶ機会としました。

**【令和 7 年度実績】**

・開催日：令和 7 年 12 月 10 日（水）

・場所：丹後・知恵のものづくりパーク B 棟 1 階 大研修室

・内容：「健康は食事のひと工夫と意識改革から」

・講師：学校法人大和学園 京都栄養医療専門学校　石伏 穣 氏

・受講者：丹後地域の事業者 28 業者 34 人（うちオンライン参加 16 人）

# Ⅲ　需要開拓事業（公益目的事業 1 ）

## 1　丹後ブランド商品認定事業

### ■ （1）　令和 7 年度 Tango Good Goods 認定事業

平成 11 年度から取り組んでいる Tango Good Goods 認定事業を引き続き実施し、丹後地域の製造者によるものづくりを奨励・支援するとともに、販路開拓に対する意欲の高揚を図りました。

また、丹後ブランド商品のコンセプト確立とブランドイメージの定着を図り、認定品の流通及び需要の拡大・開拓を推進しました。

併せて、Tango Good Goods 認定品へのロゴシール貼付を促進し、地域ブランド商品としての認知度向上と他商品との差別化を図りました。

◆ **【令和 7 年度 Tango Good Goods 認定状況】（前年度）**

| 令和 7 年度申請 | 令和 7 年度認定 | 累計認定（令和 5～7 年度） | 優秀産品表彰 |
|---|---|---|---|
| **35 業者／55 点** | **35 業者／55 点** | **76 業者／171 点** | **6 点** |
| （34 業者／56 点） | （30 業者／52 点） | （86 業者／176 点） | （5 点） |

◆ **【Tango Good Goods 認定推進委員会開催】**

認定事業内容の策定と認定商品の決定等を協議（委員 10 名）

・第 1 回：令和 7 年 4 月 18 日（金）　会場：地場産センター

・第 2 回：令和 7 年 6 月 26 日（木）・会場：地場産センター

◆ **【Tango Good Goods 認定審査会開催】**

・日程：令和 7 年 6 月 24 日（火）～25 日（水）

・会場：地場産センター

・審査員：食品表示アドバイザー、マーケティングアドバイザー、バイヤー（計 3 人）

・内容：全体講評・商品個別相談

◆ **【Tango Good Goods 認定品カタログ作成・配布】**

・BtoB 用 Tango Good Goods 認定品カタログ作成（700 部）

・バイヤー向けに Tango Good Goods 見本市等で配布

## ■ （2）　第 27 回 Tango Good Goods 見本市

京都丹後ブランド産品会との共催により、令和 7 年 11 月 22 日（土）・23 日（日）の 2 日間、宮津市民体育館において「第 27 回 Tango Good Goods 見本市」を開催しました。

令和 7 年度 Tango Good Goods 認定品等を一堂に展示し、地域内における認定品の PR、認知度向上及び流通促進を図りました。

**【令和 7 年度実績】**

・開催日：令和 7 年 11 月 22 日（土）・23 日（日）

・会場：宮津市民体育館

・内容：令和 7 年度 Tango Good Goods 認定品等の展示、PR 及び流通促進

| 出展者 | 集客 | 総売上 |
|---|---|---|
| **31 社** | **4,800 人** | **3,349,100 円** |
| （23 社） | （3,400 人） | （2,277,800 円） |

（　　）は前年度（「野田川わーくぱる」で開催）

資料 2（別冊）

## ■ （3）　Tango Good Goods 販路開拓支援事業

Tango Good Goods の優秀産品事業者を対象に、地銀フードセレクションに出展し販路開拓支援及び事業者の総合的な育成を目的として下記商談会へ出展しました。

◆ **【地方フードセレクション 2025】**

・会期：令和 7 年 11 月 13 日（木）・14 日（金）

・会場：東京ビッグサイト 西展示棟

・総来場者数：11,362 人

・出展商品：令和 7 年度 Tango Good Goods 優秀産品（アミティ丹後職員が商品説明し、各業者につないだ。）

**【商談実績】**

・名刺交換数：23 社

・有効商談数：6 社

・百貨店・通販：2 社　／　小売業：2 社　／　その他：2 社

◆ **【Tango Good Goods テストマーケティング事業】**

地域資源を活用して開発された認定商品等を対象に、GOOD NATURE STATION が主催する POPUP イベントにて、実際の購買行動や顧客の声を通じて販促 POP 及びセールスポイントの磨き上げを行うテストマーケティングを実施した。

・開催期間：令和 7 年 11 月 12 日（水）～11 月 24 日（月）

・場所：洛北阪急スクエア B1 センタースクエア イベントスペース

・出展事業者：8 社（上羽農園、株式会社 Enuncia、合同会社まるっぽ間人、しばの農園、ウミノ食品、小野甚味噌醤油醸造株式会社、西晶株式会社、丹後八姫会）

・取扱品目：54 品目（食品 42 点、雑貨 12 点）

・POPUP 全体売上：540 万円

（うち Tango Good Goods 商品 35.1 万円、構成比 6.5%）

資料 3（別冊）

## 2　京都丹後ブランド産品会の再編及び事業の推進支援

Tango Good Goods 認定事業者のうち、地域外への販路開拓を志向する事業者により構成されていた「京都丹後ブランド産品会」について、これまでの取組を総括し、今後の組織のあり方について検討を行いました。

その結果、一部の有志を中心とした活動から、Tango Good Goods 認定事業者全体で販路開拓、情報発信及び認定品のブランド力向上に取り組む体制へ移行する必要があると判断し、京都丹後ブランド産品会は令和 8 年 3 月 27 日をもって解散しました。

併せて、全員参加型の「Tango Good Goods 認定事業者会」の設立に向けて、運営体制及び事業内容の方向性を整理しました。なお、同事業者会は令和 8 年 4 月 13 日に設立しました。

【主な活動】

・京都丹後ブランド産品会の解散及び再編に向けた調整

・Tango Good Goods 認定事業者会の設立、運営体制及び事業内容の検討

・展示即売会等の開催情報の提供

・中元・歳暮カタログの作成及び配布

・EC サイトの運営支援

資料 *4*（別冊）

## 3　地域特産品販路開拓事業

### ■ （1）　地場産品販路開拓支援事業

都市部における特産品ショップ等の販路開拓を進めるとともに、バイヤーのニーズを踏まえた商品開発に向けて、製造者への情報提供を行いました。

また、収集した市場情報や商談先からの意見を製造者へ積極的に共有し、既存商品の改良及び新商品の開発を促進しました。

### ■ （2）　丹後王国「食のみやこ」との連携による丹後産品流通支援事業

丹後王国との連携により、京都市内の販売店に対して、丹後地域の農産物、農水産加工品等の地場産品の販路開拓及び流通支援を行いました。

## 4　染色体験・手織体験事業

地域資源である丹後ちりめんや織物への理解促進及び観光誘客を目的として、網野染色研究会「茜会」及び網野機業組合の協力を得て、染色・機織り等の体験事業を実施しました。

**【令和 7 年度受入実績】（前年度）**

| 染色体験 | 手織体験 |
|---|---|
| **343 人（323 人）** | **66 人（54 人）** |

# Ⅳ　情報収集・提供事業（公益目的事業１）

## 1　展示即売室即売動向情報収集分析提供事業

展示即売室における日々の顧客情報、商品情報及び販売情報の収集に取り組み、販売データを分析・加工したうえで、出展者に対して毎月「アミティ情報」を発行しました。

また、消費者の購買動向や実際の声を出展者へ伝えることで、新商品の開発及び既存商品の改良に向けた基礎資料として活用いただき、商品開発の支援につなげました。

資料 6（別冊）

## 2　公式ホームページによる地域資源発信事業

地域生産者及び消費者が手軽に利用できるタイムリーな情報提供を心がけ、地域情報、センター情報、産品情報及び広報情報等をセンター公式ホームページから発信しました。

併せて、Facebook、Instagram 及び X を活用し、丹後地域やセンターに関する身近な情報を発信することで、地域及びショップへの誘客促進を図りました。

また、公式ホームページ、ふるさと納税サイト及び EC サイトへの誘導策として SNS の活用に注力し、情報発信力の強化に取り組みました。

**【令和 7 年度実績】**

・公式ホームページ URL：https://amitytango.jp/

・SNS 活用状況：Facebook、Instagram、X に投稿

## 3　物産展等の販売機会情報収集提供事業

各地域の地場産業センターや、地域内外で開催されるイベント等に関する物産展・販売機会の情報を収集し、京都丹後ブランド産品会の会員等へ提供しました。

これにより、会員等による販路開拓及び地域産品の PR 機会の創出を支援し、丹後地域の魅力発信につなげました。

## 4　DX 化推進事業

公式ホームページに AI を活用したページ作成システムを構築し、コンテンツ更新作業の効率化を図りました。

また、X への投稿自動化システムを導入し、情報発信業務の省力化と発信頻度の向上に取り組みました。

さらに、令和 8 年 2 月には、職員による業務棚卸しを実施し、次年度に向けた課題の抽出及び DX 化による業務改善の検討を行いました。

# Ⅴ　地場産品展示普及支援事業（公益目的事業１）

## 1　地場産品常設展示

地場産センターの重要な柱である常設展示即売事業では、地場産品の紹介及び販売を目的として、地域産品の総合展示・販売拠点としての機能を担っています。

令和 7 年度は、「丹後ちりめん」をはじめ、187 業者による地場産品約 3,800 品目を展示・販売し、来館者から高い関心を得るとともに、観光事業者からも来館者への案内先として多く紹介いただきました。

また、地域の観光資源としての機能強化を図るため、丹後を訪れる観光客をはじめ、地域内外に向けて取扱品情報を発信し、幅広く宣伝・啓発を行いました。これにより、販路開拓を進めるとともに、消費者ニーズの把握による需要拡大に努めました。

さらに、地域住民への利便サービスの向上及び来場者の増加を目指し、加工支援センター商品コーナー及び農産物直売コーナーの充実を図りました。

併せて、店舗における購買動向を分析し、出展者の商品開発及び既存商品の改良に活用するとともに、センター事業の企画立案に向けた基礎資料としました。

## 2　コウノトリ但馬空港丹後産品情報発信事業

コウノトリ但馬空港のおみやげコーナーの一角において、加工支援センターで製造した商品を中心に、丹後の特産品を追加展開しました。

これにより、但馬地域や空港利用者に対して丹後の魅力を発信するとともに、観光誘客につなげ、地域間における観光及び流通の相互促進を図りました。

## 3　丹後産品情報発信事業

京都丹後ブランド産品会との共催により、消費者向けカタログとして中元及び歳暮の 2 種類を作成し、顧客等へ配布しました。

また、消費者が直接産品を購入できる EC サイトについて、レビュー機能の充実等により運営強化を図りました。

併せて、京丹後市ふるさと納税サイトの啓発を行い、丹後産品の認知度向上及び販売促進に取り組みました。

**令和７年度実績　（前年度）**

| 区分 | カタログ部数 | 販売額 | 前年度比 |
|---|---|---|---|
| 中元カタログ | 34,000 部<br>（37,500 部） | 2,779,447 円<br>(3,114,000 円) | 89.2% |
| 歳暮カタログ | 34,000 部<br>(37,500 部) | 1,907,352 円<br>（2,380,000 円） | 80.1% |

**【EC サイト販売状況】**（前年度）

| EC サイト合計（前年比 108.6%） | 独自ショップ（前年比 120.4%） | Yahoo!ショップ（前年比 69.3%） |
|---|---|---|
| **6,222,659 円**<br>**(5,731,616 円)** | **5,302,790 円**<br>**(4,404,307 円)** | **919,869 円**<br>**(1,327,309 円)** |

資料７（別冊）

**【ふるさと納税】**

令和７年度のふるさと納税事業は、総注文数量 2,498 件（前年比+3.1%）、総ポイント換算額約 1,404 万ポイントと数量・金額ともに前年と同水準を維持した安定した一年でした。販売商品数は 272 品目と前年から 53 品目増加しており、販売品の幅は着実に拡大しました。

カテゴリ別に見ると、飲料・果物・野菜という生鮮系カテゴリが伸長した一方で加工品類が落ち込んでおり、商品構成が「地域の生産物を直接届ける型」へシフトしている傾向が見受けられました。

| ふるさと納税取扱額 | 前年度比 |
|---|---|
| **14,036,730 円**<br>（14,040,795 円） | **100.0%**<br>（75.1%） |

（前年度）

資料８（別冊）

# Ⅵ　会館提供・コミュニティ事業（収益事業１）

## 1　会場提供事業

地場産センター2 階施設を、地域住民、企業及び団体等による会議、研修会、展示会等の場として貸し出しました。

また、地域コミュニティ活動の場として活用を促進し、地域活性化の一助とすることを目的に施設運営を行いました。　資料９（別冊）

## 2　地域コミュニティ事業

丹後緑風高等学校企画経営科が、観光コンテンツの造成を目的として毎年取り組んでいる「恐丹後お化け屋敷」について、令和 7 年度は丹後地域地場産業振興センターを会場として提供し、地域コミュニティ事業の一環として開催に協力しました。

併せて、同校が地元事業者と共同開発したスイーツの模擬店販売を実施し、地域事業者の商品 PR 及び販売機会の創出を支援しました。

**【令和 7 年度実績】**

・開催期間：令和 7 年 7 月 31 日（木）から 8 月 3 日（日）まで　　・入場者数：626 人

・スイーツ模擬店販売額：9 社　851,600 円

# Ⅶ　誘客販売事業（収益事業２）

## 1　誘客事業

来館者等のニーズを踏まえ、土産品としてキーホルダーや野村克也ベースボールギャラリー関連グッズ等を販売し、来館者サービスの向上及び誘客促進に取り組みました。

## 2　たんご朝市の開催

たんご朝市は、開設から 24 年を迎え、地域住民及び観光客等から好評を得ています。

令和 7 年度も、朝市出展者会の協力の下、引き続き毎週日曜日に開催し、地域産品の販売機会の創出及び来館者の増加に努めました。

また、来場者への日頃の感謝と朝市のさらなる利用促進を目的として、感謝祭を開催しました。

| イベント | 開催日 | 来場者 |
|---|---|---|
| アミティ丹後「春の感謝祭」 | 令和 7 年 4 月 27 日（日）<br>午前 8 時～10 時 | 455 名（前年度：406 名） |
| アミティ丹後「秋の感謝祭」 | 令和 7 年 11 月 2 日（日）<br>午前 8 時～10 時 | 350 名（前年度：300 名） |

### 3　野村克也ベースボールギャラリー

故野村克也氏からの貴重な寄贈品を京丹後市から貸与いただき、氏の功績をたたえるとともに、地域の観光資源として展示を行いました。　資料 *10*（別冊）

## Ⅷ　丹後地域外食品加工受託（収益事業３）

### 1　京丹後市食品加工支援センター

加工支援センター（新商品・新技術開発支援事業）の設備を活用し、丹後地域外からの製造依頼にも対応しました。　（前年度）

| 製造 | 試作 | 相談 |
|---|---|---|
| **12 件**（5 件） | **12 件**（7 件） | **62 件**（15 件） |

## Ⅸ　管理事業

### 1　理事会の開催

| 開催日 | 主な審議内容 |
|---|---|
| 令和 7 年 5 月 28 日（水） | ○令和 6 年度事業報告について<br>○令和 6 年度収支決算について<br>○評議員会の招集について |

| | |
|---|---|
| 令和８年３月30日（月） | ○給与規程の一部改正について<br>○令和７年度専決処分事件の承認（予算補正第１・２号）<br>○令和８年度事業計画及び正味財産増減予算の承認について |

## 2　評議員会の開催

| 開催日 | 主な審議内容 |
|---|---|
| 令和７年６月19日（木） | ○令和６年度貸借対照表・損益計算書（正味財産増減計算書）の承認について<br>○理事の選任について<br>○評議員の選任について |

## 3　監査会

| 開催日 | 内容 |
|---|---|
| 令和７年５月14日（水） | ○令和６年度事業・決算監査 |

## 4　全国地場産業振興センター協議会

### ■ （1）　全国地場産業振興センター協議会総会

・日時：令和７年７月３日（木）

・場所：道の駅クロステン十日町／（一財）十日町地域地場産業振興センター

**【内容】**

・令和６年度事業報告及び収支決算について

・令和７年度事業計画（案）　・収支予算（案）について

・役員の選任について　・次期総会開催地の決定について

### ■ （2）　全国地場産業振興センター協議会近畿・中国・四国地区連絡協議会

・日時：令和８年３月４日（水）　・場所：（一財）今治地域地場産業振興センター

**【内容】**

・姫路センター退会に伴う全国協議会会長及び総会開催地の確認とブロック幹事センターについて

・各センターからの協議・提案事項について　・各センター事業紹介

・全国地場産業振興センター協議会総会の開催について

# 貸借対照表

令和８年３月３１日現在

（単位:円）

| 科　　目 | 当年度 | 前年度 | 増　減 |
|---|---|---|---|
| Ⅰ資産の部 | | | |
| １．流動資産 | | | |
| 現金預金 | 14,588,661 | 16,589,832 | △ 2,001,171 |
| 売掛金 | 1,239,054 | 1,088,479 | 150,575 |
| 未収金 | 5,833,737 | 6,144,761 | △ 311,024 |
| 棚卸資産 | 1,972,521 | 2,091,040 | △ 118,519 |
| 仮払金 | 50,963 | 36,000 | 14,963 |
| 前払金 | 275,000 | 0 | 275,000 |
| 流動資産合計 | 23,959,936 | 25,950,112 | △ 1,990,176 |
| ２．固定資産 | | | |
| (1)基本財産 | | | |
| 建物 | 89,170,549 | 100,969,633 | △ 11,799,084 |
| 定期預金 | 30,000,000 | 30,000,000 | 0 |
| 基本財産合計 | 119,170,549 | 130,969,633 | △ 11,799,084 |
| (2)特定資産 | | | |
| 退職給付引当資産 | 1,509,812 | 1,506,048 | 3,764 |
| 預り保証金引当資産 | 300,000 | 300,000 | 0 |
| 建物附属設備 | 4,947,074 | 6,118,339 | △ 1,171,265 |
| 構築物 | 13 | 13 | 0 |
| 機械装置 | 3,805,789 | 4,543,537 | △ 737,748 |
| 車両運搬具 | 76,465 | 95,581 | △ 19,116 |
| 什器備品 | 25 | 25 | 0 |
| ソフトウエア | 1 | 1 | 0 |
| 特定資産合計 | 10,639,179 | 12,563,544 | △ 1,924,365 |
| (3)その他固定資産 | | | |
| 機械装置 | 1 | 1 | 0 |
| 構築物 | 42,570 | 71,548 | △ 28,978 |
| 建物附属設備 | 5 | 5 | 0 |
| 什器備品 | 81,639 | 181,867 | △ 100,228 |
| 電話加入権 | 145,600 | 145,600 | 0 |
| 出資金 | 150,000 | 150,000 | 0 |
| その他固定資産合計 | 419,815 | 549,021 | △ 129,206 |
| 固定資産合計 | 130,229,543 | 144,082,198 | △ 13,852,655 |
| 資産合計 | 154,189,479 | 170,032,310 | △ 15,842,831 |

| 科　　目 | 当年度 | 前年度 | 増　減 |
|---|---|---|---|
| Ⅱ負債の部 | | | |
| １．流動負債 | | | |
| 未払金 | 10,465,014 | 10,898,280 | △ 433,266 |
| 前受金 | 309,158 | 130,680 | 178,478 |
| 預り金 | 545,257 | 499,603 | 45,654 |
| 仮受金 | 229,012 | 546,310 | △ 317,298 |
| 流動負債合計 | 11,548,441 | 12,074,873 | △ 526,432 |
| ２．固定負債 | | | |
| 退職給付引当金 | 377,368 | 330,197 | 47,171 |
| 長期預り金 | 300,000 | 300,000 | 0 |
| 固定負債合計 | 677,368 | 630,197 | 47,171 |
| 負債合計 | 12,225,809 | 12,705,070 | △ 479,261 |
| Ⅲ正味財産の部 | | | |
| １．指定正味財産 | | | |
| 出捐金 | 30,000,000 | 30,000,000 | 0 |
| 国庫補助金 | 19,089,058 | 21,590,852 | △ 2,501,794 |
| 京都府補助金 | 19,089,057 | 21,590,851 | △ 2,501,794 |
| 京丹後市補助金 | 58,378,523 | 66,752,545 | △ 8,374,022 |
| 民間組合負担金 | 954,445 | 1,079,536 | △ 125,091 |
| 丹後1市2町負担金 | 143,163 | 161,927 | △ 18,764 |
| 指定正味財産合計 | 127,654,246 | 141,175,711 | △ 13,521,465 |
| （うち基本財産への充当額） | (119,170,549 ) | (130,969,633 ) | (△ 11,799,084) |
| （うち特定資産への充当額） | (8,483,697 ) | (10,206,078 ) | (△ 1,722,381) |
| ２．一般正味財産 | 14,309,424 | 16,151,529 | △ 1,842,105 |
| （うち基本財産への充当額） | (0 ) | (0 ) | (0 ) |
| （うち特定資産への充当額） | (645,670 ) | (851,418 ) | (△ 205,748) |
| 正味財産合計 | 141,963,670 | 157,327,240 | △ 15,363,570 |
| 負債及び正味財産合計 | 154,189,479 | 170,032,310 | △ 15,842,831 |

# 正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

（単位：円）

| 科目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| Ⅰ一般正味財産増減の部 | | | |
| 1．経常増減の部 | | | |
| (1)経常収益 | | | |
| 基本財産運用益 | 74,597 | 600 | 73,997 |
| 基本財産受取利息 | 74,597 | 600 | 73,997 |
| 事業収益 | 102,610,737 | 94,528,600 | 8,082,137 |
| 受講料収益 | 643,400 | 605,400 | 38,000 |
| 手数料収益 | 667,804 | 741,980 | △ 74,176 |
| 会場使用収益 | 10,014,753 | 9,761,844 | 252,909 |
| 受取受託産品頒布収益 | 79,267,790 | 75,207,489 | 4,060,301 |
| 受取受託商品販売収益 | 203,100 | 252,671 | △ 49,571 |
| 食品加工収益 | 10,387,131 | 6,389,802 | 3,997,329 |
| 展示小間収益 | 87,900 | 133,200 | △ 45,300 |
| 食堂施設貸付料収益 | 720,000 | 720,000 | 0 |
| 認定シール交付収益 | 240,010 | 228,400 | 11,610 |
| 雑収益 | 378,849 | 487,814 | △ 108,965 |
| 受取補助金等 | 58,645,465 | 60,552,499 | △ 1,907,034 |
| 受取京都府補助金 | 7,124,000 | 7,124,000 | 0 |
| 受取市町補助金 | 38,000,000 | 39,579,000 | △ 1,579,000 |
| 受取補助金等振替 | 13,521,465 | 13,849,499 | △ 328,034 |
| 受取負担金 | 2,701,499 | 3,837,631 | △ 1,136,132 |
| 受取負担金 | 2,701,499 | 3,837,631 | △ 1,136,132 |
| 雑収益 | 42,243 | 16,445 | 25,798 |
| 受取利息 | 37,433 | 10,949 | 26,484 |
| 手数料収益 | 810 | 1,496 | △ 686 |
| 受取配当金 | 4,000 | 4,000 | 0 |
| 経常収益計 | 164,074,541 | 158,935,775 | 5,138,766 |
| (2)経常費用 | | | |
| 事業費 | 160,157,379 | 154,230,287 | 5,927,092 |
| 役員報酬 | 4,900,367 | 4,900,367 | 0 |
| 給料手当 | 24,594,031 | 23,260,490 | 1,333,541 |
| 臨時雇用賃金 | 5,686,779 | 5,371,760 | 315,019 |
| 福利厚生費 | 6,251,172 | 5,924,170 | 327,002 |
| 退職給付引当費用 | 44,530 | 44,530 | 0 |
| 会議費 | 0 | 85,240 | △ 85,240 |
| 旅費交通費 | 277,850 | 409,220 | △ 131,370 |
| 通信運搬費 | 973,159 | 1,248,394 | △ 275,235 |
| 什器備品費 | 13,123 | 150,700 | △ 137,577 |
| 消耗品費 | 2,766,218 | 2,304,024 | 462,194 |
| 修繕費 | 1,071,651 | 1,494,705 | △ 423,054 |
| 印刷製本費 | 1,274,380 | 1,486,814 | △ 212,434 |
| 燃料費 | 155,384 | 162,881 | △ 7,497 |
| 光熱水費 | 9,279,201 | 9,544,434 | △ 265,233 |

| 科目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 賃借料 | 2,070,028 | 2,327,051 | △ 257,023 |
| 保険料 | 885,097 | 915,563 | △ 30,466 |
| 租税公課 | 7,049,964 | 6,844,464 | 205,500 |
| 負担金 | 19,896 | 196,674 | △ 176,778 |
| 委託費 | 14,220,433 | 12,061,286 | 2,159,147 |
| 広告宣伝費 | 676,100 | 688,596 | △ 12,496 |
| 保守料 | 320,657 | 299,285 | 21,372 |
| 普及促進費 | 384,627 | 278,804 | 105,823 |
| 手数料 | 1,350,529 | 1,351,181 | △ 652 |
| 諸謝金 | 198,000 | 319,000 | △ 121,000 |
| 教材費 | 76,896 | 175,796 | △ 98,900 |
| 会場整備費 | 1,015,000 | 660,000 | 355,000 |
| 受託産品費 | 61,327,519 | 58,081,334 | 3,246,185 |
| 受託商品費 | 178,997 | 231,693 | △ 52,696 |
| 雑費 | 41,997 | 32,968 | 9,029 |
| 減価償却費 | 13,053,794 | 13,378,863 | △ 325,069 |
| 管理費 | 5,759,267 | 6,650,391 | △ 891,124 |
| 役員報酬 | 368,834 | 368,834 | 0 |
| 給料手当 | 1,458,963 | 1,379,851 | 79,112 |
| 福利厚生費 | 380,396 | 362,456 | 17,940 |
| 退職給付引当費用 | 2,641 | 2,641 | 0 |
| 会議費 | 5,600 | 0 | 5,600 |
| 旅費交通費 | 163,860 | 185,140 | △ 21,280 |
| 交際費 | 18,519 | 28,384 | △ 9,865 |
| 通信運搬費 | 133,936 | 162,192 | △ 28,256 |
| 什器備品費 | 19,699 | 0 | 19,699 |
| 消耗品費 | 131,818 | 166,825 | △ 35,007 |
| 修繕費 | 55,710 | 827,200 | △ 771,490 |
| 光熱水費 | 957,842 | 964,184 | △ 6,342 |
| 賃借料 | 184,800 | 184,800 | 0 |
| 保険料 | 48,485 | 50,637 | △ 2,152 |
| 租税公課 | 318,136 | 380,136 | △ 62,000 |
| 負担金 | 140,375 | 152,375 | △ 12,000 |
| 委託費 | 495,498 | 550,283 | △ 54,785 |
| 諸謝金 | 66,000 | 66,000 | 0 |
| 雑費 | 5,530 | 1,202 | 4,328 |
| 減価償却費 | 802,625 | 817,251 | △ 14,626 |
| 経常費用計 | 165,916,646 | 160,880,678 | 5,035,968 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | △ 1,842,105 | △ 1,944,903 | 102,798 |
| 評価損益等計 | | 0 | 0 |
| 当期経常増減額 | △ 1,842,105 | △ 1,944,903 | 102,798 |

| 科目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1)経常外収益 | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2)経常外費用 | | | |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 1,842,105 | △ 1,944,903 | 102,798 |
| 一般正味財産期首残高 | 16,151,529 | 18,096,432 | △ 1,944,903 |
| 一般正味財産期末残高 | 14,309,424 | 16,151,529 | △ 1,842,105 |
| Ⅱ指定正味財産増減の部 | | | |
| 受取補助金 | 0 | 4,080,000 | △ 4,080,000 |
| 一般正味財産への振替額 | △ 13,521,465 | △ 13,849,499 | 328,034 |
| 当期指定正味財産増減額 | △ 13,521,465 | △ 9,769,499 | △ 3,751,966 |
| 指定正味財産期首残高 | 141,175,711 | 150,945,210 | △ 9,769,499 |
| 指定正味財産期末残高 | 127,654,246 | 141,175,711 | △ 13,521,465 |
| Ⅲ正味財産期末残高 | 141,963,670 | 157,327,240 | △ 15,363,570 |

令和７年度正味財産増減決算書内訳表

令和７年４月１日から令和８年３月３１日まで

（単位：円）

| 科目 | 公益事業会計 | | | | | | 収益事業会計 | | | | 法人会計（管理費） | 内部取引消去 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 公１ | | | | | | 収１ | 収２ | 収３ | | | | |
| | 新商品・新技術開発支援事業 | 人材育成事業 | 需要開拓事業 | 情報収集提供事業 | 地場産品展示普及支援事業 | 小計 | 会館提供・コミュニティー事業 | 誘客販売事業 | 丹後地域外食品加工 | 小計 | | | |
| **Ⅰ一般正味財産増減の部** | | | | | | | | | | | | | |
| **１．経常増減の部** | | | | | | | | | | | | | |
| **（１）経常収益** | | | | | | | | | | | | | |
| **基本財産運用益** | **12,000** | **12,000** | **12,000** | **12,000** | **12,000** | **60,000** | **0** | **0** | **0** | **0** | **14,597** | | **74,597** |
| 基本財産受取利息 | 12,000 | 12,000 | 12,000 | 12,000 | 12,000 | 60,000 | 0 | | | 0 | 14,597 | | 74,597 |
| **事業収益** | **4,834,029** | **5,000** | **2,813,294** | **0** | **78,033,775** | **85,686,098** | **10,862,853** | **291,000** | **5,710,724** | **16,864,577** | **60,062** | | **102,610,737** |
| 受講料収益 | 0 | 5,000 | 638,400 | 0 | 0 | 643,400 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 643,400 |
| 手数料収益 | 43,400 | 0 | 622,292 | 0 | 2,112 | 667,804 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 667,804 |
| 会場使用収益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10,014,753 | 0 | 0 | 10,014,753 | 0 | | 10,014,753 |
| 受取受託産品頒布収益 | 0 | 0 | 1,269,022 | 0 | 77,998,768 | 79,267,790 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 79,267,790 |
| 受取受託商品販売収益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 203,100 | 0 | 203,100 | 0 | | 203,100 |
| 食品加工収益 | 4,706,166 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,706,166 | 0 | 0 | 5,680,965 | 5,680,965 | 0 | | 10,387,131 |
| 展示小間収益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 87,900 | 0 | 87,900 | 0 | | 87,900 |
| 施設貸付収益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 720,000 | 0 | 0 | 720,000 | 0 | | 720,000 |
| 認定シール交付収益 | 0 | 0 | 240,010 | 0 | 0 | 240,010 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 240,010 |
| 雑収益 | 84,463 | 0 | 43,570 | 0 | 32,895 | 160,928 | 128,100 | 0 | 29,759 | 157,859 | 60,062 | | 378,849 |
| **受取補助金** | **2,754,693** | **665,000** | **25,680,193** | **5,686,000** | **6,890,593** | **41,676,479** | **11,637,752** | **0** | **0** | **11,637,752** | **5,331,234** | | **58,645,465** |
| 受取府補助金 | 0 | 0 | 3,739,000 | 1,886,000 | 1,499,000 | 7,124,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 7,124,000 |
| 受取市町補助金 | 1,656,000 | 665,000 | 21,556,000 | 3,800,000 | 2,727,000 | 30,404,000 | 3,065,652 | 0 | 0 | 3,065,652 | 4,530,348 | | 38,000,000 |
| （指定正味財産からの振替額） | | | | | | | | | | | | | |
| 国庫補助金 | 141,994 | 0 | 70,794 | 0 | 519,156 | 731,944 | 1,604,664 | 0 | 0 | 1,604,664 | 165,186 | | 2,501,794 |
| 京都府補助金 | 141,994 | 0 | 70,794 | 0 | 519,156 | 731,944 | 1,604,664 | 0 | 0 | 1,604,664 | 165,186 | | 2,501,794 |
| 京丹後市補助金 | 806,540 | 0 | 239,534 | 0 | 1,596,429 | 2,642,503 | 5,270,503 | 0 | 0 | 5,270,503 | 461,016 | | 8,374,022 |
| 民間組合負担金 | 7,100 | 0 | 3,540 | 0 | 25,958 | 36,598 | 80,234 | 0 | 0 | 80,234 | 8,259 | | 125,091 |
| 丹後１市２町負担金 | 1,065 | 0 | 531 | 0 | 3,894 | 5,490 | 12,035 | 0 | 0 | 12,035 | 1,239 | | 18,764 |
| **受取負担金** | **62,000** | **0** | **260,582** | **0** | **568,400** | **890,982** | **1,810,517** | **0** | **0** | **1,810,517** | **0** | | **2,701,499** |
| 受取負担金 | 62,000 | 0 | 260,582 | 0 | 568,400 | 890,982 | 1,810,517 | 0 | 0 | 1,810,517 | 0 | | 2,701,499 |
| **雑収益** | **0** | **0** | **0** | **0** | **0** | **0** | **0** | **810** | **0** | **810** | **41,433** | | **42,243** |
| 受取利息 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 37,433 | | 37,433 |
| 受取手数料収益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 810 | 0 | 810 | 0 | | 810 |
| 受取配当金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,000 | | 4,000 |
| **経常収益計** | **7,662,722** | **682,000** | **28,766,069** | **5,698,000** | **85,504,768** | **128,313,559** | **24,311,122** | **291,810** | **5,710,724** | **30,313,656** | **5,447,326** | | **164,074,541** |
| **（２）経常費用** | | | | | | | | | | | | | |
| **事業費** | | | | | | | | | | | | | |
| 役員報酬 | 263,453 | 263,453 | 3,345,989 | 500,566 | 263,453 | 4,636,914 | 263,453 | 0 | 0 | 263,453 | 0 | | 4,900,367 |
| 給料手当 | 234,470 | 338,681 | 15,970,532 | 2,735,558 | 5,080,325 | 24,359,566 | 208,417 | 26,048 | 0 | 234,465 | 0 | | 24,594,031 |
| 賃金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,686,779 | 5,686,779 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 5,686,779 |
| 福利厚生費 | 89,290 | 110,880 | 3,826,065 | 644,109 | 1,491,540 | 6,161,884 | 83,895 | 5,393 | 0 | 89,288 | 0 | | 6,251,172 |
| 退職給付引費 | 424 | 613 | 28,919 | 4,952 | 9,198 | 44,106 | 377 | 47 | | 424 | 0 | | 44,530 |
| 旅費交通費 | 1,700 | 0 | 276,150 | 0 | 0 | 277,850 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 277,850 |
| 通信運搬費 | 94,052 | 0 | 132,325 | 318,754 | 299,138 | 844,269 | 0 | 0 | 128,890 | 128,890 | 0 | | 973,159 |
| 什器備品費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13,123 | 0 | 0 | 13,123 | 0 | | 13,123 |
| 消耗品費 | 500,007 | 0 | 799,156 | 130,251 | 481,011 | 1,910,425 | 30,871 | 0 | 824,922 | 855,793 | 0 | | 2,766,218 |
| 修繕費 | 31,768 | 0 | 79,783 | 0 | 459,800 | 571,351 | 500,300 | 0 | 0 | 500,300 | 0 | | 1,071,651 |
| 印刷製本費 | 4,353 | 0 | 746,646 | 29,425 | 493,956 | 1,274,380 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 1,274,380 |
| 燃料費 | 0 | 0 | 155,384 | 0 | 0 | 155,384 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 155,384 |
| 光熱水費 | 1,900,614 | 0 | 0 | 0 | 2,527,292 | 4,427,906 | 3,871,029 | 266 | 980,000 | 4,851,295 | 0 | | 9,279,201 |
| 賃借料 | 0 | 0 | 660,806 | 1,219,602 | 189,620 | 2,070,028 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 2,070,028 |
| 保険料 | 111,090 | 0 | 146,528 | 0 | 156,441 | 414,059 | 471,004 | 34 | 0 | 471,038 | 0 | | 885,097 |
| 租税公課 | 740,184 | 0 | 235,824 | 0 | 1,939,690 | 2,915,698 | 4,134,002 | 264 | 0 | 4,134,266 | 0 | | 7,049,964 |
| 負担金 | 0 | 0 | 19,896 | 0 | 0 | 19,896 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 19,896 |
| 委託費 | 5,067,526 | 0 | 638,600 | 0 | 2,303,894 | 8,010,020 | 2,510,557 | 2,932 | 3,696,924 | 6,210,413 | 0 | | 14,220,433 |
| 広告宣伝費 | 0 | 0 | 250,345 | 0 | 386,155 | 636,500 | 0 | 39,600 | 0 | 39,600 | 0 | | 676,100 |
| 保守料 | 0 | 0 | 0 | 320,657 | 0 | 320,657 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 320,657 |
| 普及促進費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 348,827 | 348,827 | 0 | 35,800 | 0 | 35,800 | 0 | | 384,627 |
| 手数料 | 0 | 0 | 89,533 | 0 | 1,260,996 | 1,350,529 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 1,350,529 |

令和７年度正味財産増減決算書内訳表

令和７年４月１日から令和８年３月３１日まで

（単位：円）

| 科　　目 | 公益事業会計 | | | | | | 収益事業会計 | | | | 法人会計（管理費） | 内部取引消去 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 公１ | | | | | | 収１ | 収２ | 収３ | | | | |
| | 新商品・新技術開発支援事業 | 人材育成事業 | 需要開拓事業 | 情報収集提供事業 | 地場産品展示普及支援事業 | 小　計 | 会館提供・コミュニティー事業 | 誘客販売事業 | 丹後地域外食品加工 | 小　計 | | | |
| 諸謝金 | 0 | 0 | 198,000 | 0 | 0 | 198,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 198,000 |
| 教材費 | 0 | 5,000 | 71,896 | 0 | 0 | 76,896 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 76,896 |
| 会場整備費 | 0 | 0 | 1,015,000 | 0 | 0 | 1,015,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 1,015,000 |
| 受託産品費 | 0 | 0 | 764,178 | 0 | 60,563,341 | 61,327,519 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 61,327,519 |
| 受託商品費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 178,997 | 0 | 178,997 | 0 | | 178,997 |
| 雑費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 41,997 | 41,997 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 41,997 |
| 減価償却費 | 1,109,194 | 0 | 478,769 | 0 | 2,737,014 | 4,324,977 | 8,728,817 | 0 | 0 | 8,728,817 | 0 | | 13,053,794 |
| **管理費** | | | | | | | | | | | | | |
| 役員報酬 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 368,834 | | 368,834 |
| 給料手当 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,458,963 | | 1,458,963 |
| 福利厚生費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 380,396 | | 380,396 |
| 退職給付引費 | 0 | | | | | 0 | | | | 0 | 2,641 | | 2,641 |
| 会議費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,600 | | 5,600 |
| 旅費交通費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 163,860 | | 163,860 |
| 交際費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18,519 | | 18,519 |
| 通信運搬費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 133,936 | | 133,936 |
| 什器備品費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 19,699 | | 19,699 |
| 消耗品費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 131,818 | | 131,818 |
| 修繕費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 55,710 | | 55,710 |
| 光熱水費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 957,842 | | 957,842 |
| 賃借料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 184,800 | | 184,800 |
| 保険料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 48,485 | | 48,485 |
| 租税公課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 318,136 | | 318,136 |
| 負担金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 140,375 | | 140,375 |
| 委託費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 495,498 | | 495,498 |
| 諸謝金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 66,000 | | 66,000 |
| 雑費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,530 | | 5,530 |
| 減価償却費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 802,625 | | 802,625 |
| **経常費用計** | **10,148,125** | **718,627** | **29,930,324** | **5,903,874** | **86,720,467** | **133,421,417** | **20,815,845** | **289,381** | **5,630,736** | **26,735,962** | **5,759,267** | | **165,916,646** |
| **当期経常増減額** | **△ 2,485,403** | **△ 36,627** | **△ 1,164,255** | **△ 205,874** | **△ 1,215,699** | **△ 5,107,858** | **3,495,277** | **2,429** | **79,988** | **3,577,694** | **△ 311,941** | | **△ 1,842,105** |
| **２．経常外増減の部** | | | | | | | | | | | | | |
| **(1)経常外収益** | | | | | | | | | | | | | |
| **経常外収益計** | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| **(2)経常外費用** | | | | | | | | | | | | | |
| **経常外費用計** | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| 他会計振替額 | 79,988 | 0 | 0 | 0 | 1,228,146 | 1,308,134 | △ 2,187,143 | △ 2,429 | △ 79,988 | △ 2,269,560 | 961,426 | | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 2,405,415 | △ 36,627 | △ 1,164,255 | △ 205,874 | 12,447 | △ 3,799,724 | 1,308,134 | 0 | 0 | 1,308,134 | 649,485 | | △ 1,842,105 |
| 一般正味財産期首残高 | △ 6,462,576 | △ 1,417,940 | △ 8,988,421 | △ 2,644,160 | △ 9,745,938 | △ 29,259,035 | 36,653,347 | 176,760 | 0 | 36,830,107 | 8,580,457 | | 16,151,529 |
| 一般正味財産期末残高 | △ 8,867,991 | △ 1,454,567 | △ 10,152,676 | △ 2,850,034 | △ 9,733,491 | △ 33,058,759 | 37,961,481 | 176,760 | 0 | 38,138,241 | 9,229,942 | | 14,309,424 |
| **Ⅱ指定正味財産増減の部** | | | | | | | 0 | | | | | | |
| 受取補助金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| 一般正味財産への振替額 | △ 1,098,693 | 0 | △ 385,193 | 0 | △ 2,664,593 | △ 4,148,479 | △ 8,572,100 | 0 | 0 | △ 8,572,100 | △ 800,886 | | △ 13,521,465 |
| 当期指定正味財産増減額 | △ 1,098,693 | 0 | △ 385,193 | 0 | △ 2,664,593 | △ 4,148,479 | △ 8,572,100 | 0 | 0 | △ 8,572,100 | △ 800,886 | | △ 13,521,465 |
| 指定正味財産期首残高 | 7,616,767 | 5,000,000 | 8,475,249 | 5,000,000 | 29,017,369 | 55,109,385 | 73,856,982 | 281 | 0 | 73,857,263 | 12,209,063 | | 141,175,711 |
| 指定正味財産期末残高 | 6,518,074 | 5,000,000 | 8,090,056 | 5,000,000 | 26,352,776 | 50,960,906 | 65,284,882 | 281 | 0 | 65,285,163 | 11,408,177 | | 127,654,246 |
| **Ⅲ正味財産期末残高** | △ 2,349,917 | 3,545,433 | △ 2,062,620 | 2,149,966 | 16,619,285 | 17,902,147 | 103,246,363 | 177,041 | 0 | 103,423,404 | 20,638,119 | | 141,963,670 |

# 財産目録

令和８年３月３１日現在

（単位:円）

| 貸借対照表科目 | | 場所・物量等 | 使用目的等<br>公：公益目的事業　収：収益事業<br>法：管理業務 | 金　　額 |
|---|---|---|---|---|
| (流動資産) | | | | |
| | 現金 | 手元保管 | 運転資金として | 236,645 |
| | 普通預金 | | | 14,352,016 |
| | | 京都銀行網野支店<br>普通預金 | 丹後地域地場産業振興センター運転資金として | (7,777,318 ) |
| | | 京都銀行網野支店<br>普通預金 | 京丹後市食品加工支援センター運転資金として | (2,098,143 ) |
| | | 京都北都信用金庫網野支店<br>普通預金 | 丹後地域地場産業振興センター運転資金として | (3,408,470 ) |
| | | 京都農業協同組合網野支店<br>普通預金 | 同上 | (1,045,139 ) |
| | | 但馬信用金庫<br>久美浜支店<br>普通預金 | 同上 | (22,946 ) |
| | 売掛金 | | | 1,239,054 |
| | | アミティ丹後売掛金 | 顧客掛売 | (1,019,564 ) |
| | | 外販事業売掛金 | イベント出店売掛金 | (219,490 ) |
| | 未収金 | | | 5,833,737 |
| | | 地場産品製造業者 | 公：丹後産品PR事業負担金 | (159,464 ) |
| | | | 公：食品加工料 | (829,953 ) |
| | | 京丹後市 | 公：丹後地域地場産業振興センター運営費補助金第5期 | (1,746,348 ) |
| | | | 収：同上按分 | (153,652 ) |
| | | | 法：同上按分 | (0 ) |
| | | クレジットカード | 公：地場産品展示普及支援事業に係るクレジットカード利用顧客等 | (1,552,700 ) |
| | | 会館利用者 | 収：会館提供事業に係る3月会場利用料等 | (414,974 ) |
| | | 地域外事業者 | 収：食品加工料 | (976,646 ) |
| | 棚卸資産 | 展示即売室 | 収：野村克也氏関連商品 | 1,972,521 |
| | 仮払金 | | | 50,963 |
| | | 地場産品製造業者 | 公：商品ラベル代 | (29,930 ) |
| | | 地域外事業者 | 収：商品ラベル代 | (21,033 ) |
| | 前払金 | 展示会主催者 | 収：食品OEMエキスポ出展料 | 275,000 |
| 流動資産合計 | | | | 23,959,936 |

| 貸借対照表科目 | | 場所・物量等 | 使用目的等<br>公：公益目的事業　収：収益事業<br>法：管理業務 | 金　　額 |
|---|---|---|---|---|
| (固定資産)<br>基本財産 | | | | 119,170,549 |
| | 建物 | 場所：当センター建物 | | 89,170,549 |
| | | 形状：3階建<br>床面積：3787㎡ | 公：使用している面積の按分。<br>収：会館提供事業に使用している面積の按分。<br>法：使用している面積の按分。 | (22,437,330 )<br>(60,504,715 )<br>(6,228,504 ) |
| | 定期預金 | 京都北都信用金庫網野支店<br>定期預金 | | 30,000,000 |
| | | | 運用益を公：の財源として使用。<br>運用益を法：の財源として使用。 | (25,000,000 )<br>(5,000,000 ) |
| 特定資産 | | | | 10,639,179 |
| | 退職給付引当資産 | 京都銀行網野支店<br>定期預金 | 退職金の支払財源として積み立てている。 | 1,509,812 |
| | 預り保証金引当資産 | 京都北都信用金庫網野支店<br>定期預金 | 食堂施設貸付預り保証金を定期預金として積立 | 300,000 |
| | 建物附属設備 | | | 4,947,074 |
| | | 自動扉、空調、消火、電気設備<br>同上 | 公：使用している面積の按分。<br>収：会館提供事業に使用している面積の按分。 | (1,551,487 )<br>(3,395,587 ) |
| | 構築物 | 建物以外の建造物 | | 13 |
| | | | 公：使用している面積の按分。<br>収：会館提供事業に使用している面積の按分。<br>法：使用している面積の按分。 | (5 )<br>(6 )<br>(2 ) |
| | 機械装置 | | | 3,805,789 |
| | | 高機能急速冷凍装置 | 公：新商品・新技術開発事業に使用している。 | (1,024,245 ) |
| | | 自家用発電設備 | 公：使用している面積の按分。<br>収：会館提供事業に使用している面積の按分。<br>法：使用している面積の按分。 | (1,001,081 )<br>(1,613,570 )<br>(166,889 ) |
| | | 糸繰機等 | 公：需要開拓事業織物見学に使用している。 | (4 ) |
| | 車両運搬具 | | | 76,465 |
| | | 公用車 | 公：需要開拓事業に使用している。 | (76,465 ) |
| | 什器備品 | | | 25 |
| | | 陳列ケース、レジカウンター等<br>会議用机、椅子<br>応接室椅子等 | 公：地場産品展示普及支援事業に使用している。<br>収：会館提供事業に使用している。<br>法：管理運営に使用している。 | (10 )<br>(14 )<br>(1 ) |
| | ソフトウエア | 丹後産品集出荷、販売管理システム | 公：に使用している。 | 1 |

| 貸借対照表科目 | | 場所・物量等 | 使用目的等<br>公：公益目的事業　収：収益事業<br>法：管理業務 | 金　　額 |
|---|---|---|---|---|
| その他固定資産 | | | | 419,815 |
| | 機械装置 | 糸繰機 | 公：需要開拓事業織物見学に使用している。 | 1 |
| | 構築物 | 建物以外の建造物 | | 42,570 |
| | | | 公：に使用している面積の按分。 | (15,324 ) |
| | | | 収：会館提供事業に使用している面積の按分。 | (24,691 ) |
| | | | 法：に使用している面積の按分。 | (2,555 ) |
| | 建物附属設備 | | | 5 |
| | | 警備保障システム等 | 公：に使用している面積の按分。 | (2 ) |
| | | 同上 | 収：会館提供事業に使用している面積の按分。 | (2 ) |
| | | 同上 | 法：に使用している面積の按分。 | (1 ) |
| | 什器備品 | | | 81,639 |
| | | 冷蔵ケース、陳列棚等 | 公：地場産品展示普及支援事業に使用している。 | (81,614 ) |
| | | 音響装置、会議用机等 | 収：会館提供事業に使用している。 | (25 ) |
| | 電話加入権 | 事務室電話 | | 145,600 |
| | | | 公：利用率案分 | (131,040 ) |
| | | | 法：利用率按分 | (14,560 ) |
| | 出資金 | | | 150,000 |
| | | 京都北都信用金庫 | 金銭消費貸借契約に係る京都北都信用金庫定款に基づく出資 | (100,000 ) |
| | | 但馬信用金庫 | 金銭消費貸借契約に係る但馬信用金庫定款に基づく出資 | (50,000 ) |
| 固定資産合計 | | | | 130,229,543 |
| 資産合計 | | | | 154,189,479 |
| (流動負債) | | | | |
| | 未払金 | | | 10,465,014 |
| | | 地場産品製造業者 | 公：地場産品展示普及支援事業に係る3月受託産品費 | (4,254,317 ) |
| | | | 公：3月経費 | (2,216,337 ) |
| | | | 収：3月経費 | (2,008,917 ) |
| | | | 法：3月経費 | (486,145 ) |
| | | 舞鶴年金事務所 | 3月保険料 | (328,198 ) |
| | | 京丹後市 | 法人市民税均等割 | (60,000 ) |
| | | 京都府 | 法人府民税均等割 | (20,000 ) |
| | | 国庫 | 令和6年度確定消費税 | (1,091,100 ) |
| | 前受金 | | | 309,158 |
| | | 地域外事業者 | 収：食品加工料 | (242,388 ) |
| | | 会場利用者 | 収：会館提供事業に係る4月会場利用料 | (66,770 ) |

| 貸借対照表科目 | | 場所・物量等 | 使用目的等<br>公：公益目的事業　収：収益事業<br>法：管理業務 | 金　　額 |
|---|---|---|---|---|
| (流動負債) | 預り金 | | | 545,257 |
| | 源泉徴収所得税 | 国庫 | 1～3月所得税預り | (145,400 ) |
| | 地方税 | 京丹後市 | 3月地方税預り | (79,400 ) |
| | 社会保険料 | 舞鶴年金事務所 | 3月保険料 | (320,457 ) |
| | 仮受金 | | | 229,012 |
| | | | 京丹後デジタルポイントチャージ金等 | (229,012 ) |
| 流動負債合計 | | | | 11,548,441 |
| (固定負債) | 退職給付引当金 | 職員分 | 職員2名に対する退職給付金引当金 | 377,368 |
| | 長期預り金 | 網野観光開発㈲ | 収：食堂施設保証金 | 300,000 |
| 固定負債合計 | | | | 677,368 |
| 負債合計 | | | | 12,225,809 |
| 正味財産 | | | | 141,963,670 |

# 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

（１） 固定資産の減価償却の方法
定額法による減価償却を実施している。

（２） 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は税込み方式によっている。

（３） 引当金の計上基準
退職給付引当金については中小企業退職金共済制度を活用し掛金をおこなっているが、過去の勤務掛金について遡及し切れない金額を退職給付金引当として計上している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

| 科　　目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|---|---|---|---|---|
| 基本財産 | | | | |
| 建物 | 100,969,633 | 0 | 11,799,084 | 89,170,549 |
| 定期預金 | 30,000,000 | 0 | 0 | 30,000,000 |
| 小計 | 130,969,633 | 0 | 11,799,084 | 119,170,549 |
| 特定資産 | | | | |
| 退職給付引当資産 | 1,506,048 | 3,764 | 0 | 1,509,812 |
| 預り保証金引当資産 | 300,000 | 0 | 0 | 300,000 |
| 建物付属設備 | 6,118,339 | 0 | 1,171,265 | 4,947,074 |
| 構築物 | 13 | 0 | 0 | 13 |
| 機械装置 | 4,543,537 | 0 | 737,748 | 3,805,789 |
| 車両運搬具 | 95,581 | 0 | 19,116 | 76,465 |
| 什器備品 | 25 | 0 | 0 | 25 |
| ソフトウエア | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 小計 | 12,563,544 | 3,764 | 1,928,129 | 10,639,179 |
| 合計 | 143,533,177 | 3,764 | 13,727,213 | 129,809,728 |

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

| 科　　目 | 当期末残高 | （うち指定正味財産からの充当額） | （うち一般正味財産からの充当額） | （うち負債に対応する額） |
|---|---|---|---|---|
| 基本財産 | | | | |
| 建物 | 89,170,549 | (89,170,549) | | |
| 定期預金 | 30,000,000 | (30,000,000) | | |
| 小　　計 | 119,170,549 | (119,170,549) | 0 | 0 |
| 特定資産 | | | | |
| 退職給付引当資産 | 1,509,812 | | | (1,509,812) |
| 預り保証金引当資産 | 300,000 | | (300,000) | |
| 建物付属設備 | 4,947,074 | (4,601,404) | (345,670) | |
| 構築物 | 13 | (13) | | |
| 機械装置 | 3,805,789 | (3,805,789) | | |
| 車両運搬具 | 76,465 | (76,465) | | |
| 什器備品 | 25 | (25) | | |
| ソフトウエア | 1 | (1) | | |
| 小　　計 | 10,639,179 | (8,483,697) | (645,670) | (1,509,812) |
| 合　　計 | 129,809,728 | (127,654,246) | (645,670) | (1,509,812) |

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

| 補助金等の名称 | 交付者 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 | 貸借対照表上の記載区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 出捐金 | 京都府、自治体、関係団体 | 30,000,000 | 0 | 0 | 30,000,000 | 指定正味財産 |
| 建設費補助金 | 国 | 21,590,851 | 0 | 2,501,794 | 19,089,057 | |
| 同上 | 京都府 | 21,590,851 | 0 | 2,501,794 | 19,089,057 | |
| 建設費等補助金 | 京丹後市 | 10,182,787 | 0 | 1,179,909 | 9,002,878 | |
| 建設費等負担金 | 丹後織物工業組合 | 1,079,536 | 0 | 125,091 | 954,445 | |
| 同上 | 丹後１市２町 | 161,927 | 0 | 18,764 | 143,163 | |
| 高度化資金返済補助金 | 京丹後市 | 45,695,951 | 0 | 5,294,923 | 40,401,028 | |
| 空調設備等改修工事補助金 | 京丹後市 | 616,403 | 0 | 229,999 | 386,404 | |
| 公用車購入補助金 | 京丹後市 | 95,581 | 0 | 19,115 | 76,466 | |
| 施設改修事業費補助金（屋上防水工事） | 京丹後市 | 324,452 | 0 | 108,149 | 216,303 | |
| 施設改修事業費補助金（昇降機修繕） | 京丹後市 | 905,258 | 0 | 453,758 | 451,500 | |
| 施設改修事業費補助金（自動扉修繕） | 京丹後市 | 33,601 | 0 | 8,399 | 25,202 | |
| 施設改修事業費補助金（下水道接続工事） | 京丹後市 | 343,317 | 0 | 68,662 | 274,655 | |
| 施設改修事業費補助金（絨毯等張替） | 京丹後市 | 1 | 0 | 0 | 1 | |
| 高機能急速冷凍装置導入事業補助金 | 京丹後市 | 1,398,465 | 0 | 374,220 | 1,024,245 | |
| 大規模改修補助金（自家用発電設備） | 京丹後市 | 3,145,068 | 0 | 363,528 | 2,781,540 | |
| 大規模改修補助金（自動扉修繕） | 京丹後市 | 4,011,661 | 0 | 273,360 | 3,738,301 | |
| 丹後産品集積活性化事業（ソフトウエア） | 国 | 1 | 0 | 0 | 1 | |
| 小計 | | 141,175,711 | 0 | 13,521,465 | 127,654,246 | |
| 地場産業等振興対策費補助金 | 京都府 | 0 | 7,124,000 | 7,124,000 | 0 | 一般正味財産 |
| 運営費補助金 | 京丹後市 | 0 | 39,579,000 | 39,579,000 | 0 | |
| 小計 | | 0 | 46,703,000 | 46,703,000 | 0 | |
| 合　　計 | | 141,175,711 | 46,703,000 | 60,224,465 | 127,654,246 | |

（注）指定正味財産の当期減少額は、次項6. の振替である。

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

| 内　　容 | 金　　額 |
|---|---|
| 経常収益への振替額 | |
| 減価償却費計上による振替額 | 13,849,499 |
| 合　　計 | 13,849,499 |

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

| 科　　目 | 取得価額 | 減価償却累計額 | 当期末残高 |
|---|---|---|---|
| 基本財産 | | | |
| 建物 | 579,703,551 | 490,533,002 | 89,170,549 |
| 特定資産 | | | |
| 建物付属設備 | 204,362,161 | 199,415,087 | 4,947,074 |
| 構築物 | 46,158,310 | 46,158,297 | 13 |
| 機械装置 | 15,150,000 | 11,344,211 | 3,805,789 |
| 車両運搬具 | 4,319,506 | 4,243,041 | 76,465 |
| 什器備品 | 20,471,734 | 20,471,709 | 25 |
| ソフトウエア | 84,913,500 | 84,913,499 | 1 |
| その他固定資産 | | | |
| 機械装置 | 390,000 | 389,999 | 1 |
| 構築物 | 5,382,750 | 5,311,202 | 71,548 |
| 建物付属設備 | 1,490,240 | 1,490,235 | 5 |
| 什器備品 | 35,453,828 | 35,271,961 | 181,867 |
| 合　　計 | 997,795,580 | 899,542,243 | 98,253,337 |

# 附属明細書

１．基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。

２．引当金の明細

（単位：円）

| 科目 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | | 期末残高 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 目的使用 | その他 | |
| 退職給付引当金 | 330,197 | 47,171 | 0 | 0 | 377,368 |

３．退職金の積立

独立行政法人勤労者退職金共済機構による中小企業退職金共済制度へ掛金を納付している。

# 令和７年度監査報告書

令和８年５月１４日

公益財団法人 丹後地域地場産業振興センター
理事長　中　西　和　義　様

監　事　松本 淳

監　事　川戸潤子

１．監査の実施概要

令和８年５月１４日、丹後地域地場産業振興センターにおいて、公益財団法人 丹後地域地場産業振興センターの令和７年度（自　令和７年４月１日～至　令和８年３月３１日）の業務及び会計の状況について、鎌田誠専務理事及び山口正彦事務局長の説明を聴取、関係資料の提出を求めて監査を実施した。

２．監査意見

監査の結果、私たちの意見は次のとおりです。

（１）事業報告書の内容は、適正であることを認めます。

（２）正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は、令和６年度の収支及び同年度末現在の財政状況を適正に表示していると認めます。

以上のとおり報告します。

# 令和８年度

# 公益財団法人丹後地域地場産業振興センター 事業計画

## はじめに

日本経済は緩やかな景気回復が続く中で、人手不足や原材料価格の上昇、少子高齢化、さらにはデジタル化の進展といった複合的な課題に直面しています。こうした状況を踏まえ、これらの課題に対応しながら、丹後地域の地場産業の振興に資する取り組みを強化していきます。

具体的には、「地場産品の高付加価値化」や「販路拡大支援の強化」に加え、「デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進」及び「持続可能な地域社会の構築」を重点施策として掲げ、事業を展開していきます。
併せて、「売れる商品づくり」と「稼ぐ力の強化」を明確に意識し、具体的成果につながる支援を推進します。

特に、「京丹後市食品加工支援センター」（以下「加工支援センター」）については指定管理最終年度を迎えることから、利用率の向上及び受託加工の拡大を図り、単年度黒字化を到達目標として地域生産者及び加工事業者への支援を一層充実させます。
また、令和 7 年度に発生した異物混入事案を重く受け止め、品質管理体制を強化し、食品の安心・安全については「事故ゼロ」を当然の前提として徹底します。

さらに、「Tango Good Goods 認定事業」については、「Tango Good Goods 認定事業者会」（以下「認定事業者会」）を設立し、事業者間の連携・交流を強化し、認定事業が市場で評価されるよう販路開拓の実効性を高めていきます。

また、時代の変化に対応しながら、新たな価値創造にも積極的に取り組み、地域の特色を活かした地場産業の振興と地域経済の活性化に一層努めてまいります。

## Ⅰ．新商品・新技術開発事業（公益目的事業１）

### 1．新商品・新技術開発支援事業（重点取組）

丹後地域における加工食品の保存性向上や価格の適正化など、地域が抱える課題の解決に向け、「加工支援センター」の活用を強化します。
特に、地域の農林水産業者は加工事業者を兼ねるケースが多く、生産から加工、販売までを見据えた一貫した視点で支援を行うことが重要となります。

これまで加工支援センターでは、多くの新商品開発を支援し、令和 8 年 2 月末現在で通算で 63 商品が誕生しています。また、令和 7 年度においても新たに 12 商品が生

まれ、毎月のように継続的な製造につながっている商品もあります。
令和 8 年度は、指定管理最終年度を迎えることから、単に新商品を生み出すことにとどまらず、「継続して売れる商品づくり」を重視します。開発段階から市場ニーズ及び価格競争力を意識し、定期的な製造につながる商品を増やすことで、加工支援センター利用の安定化及び売上向上を図ります。

また、新商品の販路開拓支援の一環として、新規事業としてクラウドファンディングを活用した資金調達及び販路開拓支援に取り組みます。これにより、開発段階において必要な資金を確保するとともに、販売先を事前に確保した状態で製造に着手する仕組みを構築し、継続的な製造及び販売につなげていきます。

**（令和８年度目標）加工支援センター売上高 1,500 万円の達成**
**（参考：令和 8 年 1 月末現在 770 万円）**

### 2. 丹後地域加工食品品質向上連絡会

パッケージングの改善や滅菌処理技術の向上等を通じ、販路先が求める品質・技術水準の達成を目指します。特に、地域の農林水産業者及び加工事業者への支援を強化するため、京都府農業改良普及センター等の関係機関との連携を一層強化し、技術指導や情報提供の充実を図ります。

令和 8 年度は、会議での情報共有にとどまらず、現場課題に即した助言及び支援策の積極的な情報提供を行います。併せて、品質向上や設備改善に資する各種補助制度等の情報を適時提供し、事業者の活用を後押しします。

また、参加事業者間で成功事例や改善事例の共有と横展開を促進し、品質の安定化と信頼性の向上を図ることで、販路開拓の可能性をさらに広げていきます。

### 3. 高機能急速冷凍装置活用による商品展開強化事業

平成 27 年度に丹後地域地場産業振興センター（以下「地場産センター」）内に導入した「高機能急速冷凍装置」（プロトン）を活用し、丹後地域の食品加工業者、飲食・宿泊業、小売業者などと連携しながら、冷凍技術を活かした商品展開の高度化を図ります。

## Ⅱ．人材育成事業（公益目的事業１）

伝統産業である織物業をはじめ、地域の事業所・商店街の維持・再生・発展を支援するとともに、地域特性を活かした未来志向の産業及びワークスタイルを創出し、雇用・就業の拡大を目指します。

併せて、地域事業者の「稼ぐ力」の向上を支える人材の育成を重視し、商品開発力及び販売力の強化につながる取り組みを推進します。これらの目的達成のため、以下の人材育成事業を実施します。

### 1．創業支援事業

平成 26 年度より創業支援事業として「創業支援窓口」を開設し、創業希望者へのサポートを行っています。令和 8 年度も引き続き、関係機関及び団体と連携しながら、相談対応、指導及び情報提供を強化するとともに、創業後の事業継続を見据えた販路確保や収益モデル構築に向けた助言を行うなど、伴走型支援を充実させ、地域の新たな事業創出及び定着を促進します。

### 2．手機講習会の開催

研究開発棟に設置された手機を活用し、丹後地域の伝統産業である織物技術の継承及び普及を推進するとともに、指導者の育成及び次世代技術者の確保を図るため、「手機講習会」等を開催します。

### 3．染色講習会の開催

染色グループ「網野染色研究会 茜」の活動拠点として施設を提供し、染色技術の向上及び次世代技術者の育成を支援するとともに、地域内での関心を高めるため「染色講習会」や「体験実習」等を実施し、技術の普及を推進します。

### ４．食品加工技術研究開発事業（新規）

食品加工技術の高度化を推進するため、京都府織物・機械金属振興センター等の専門機関と連携し、相談件数が多い「レトルト食品」の開発技術に関する勉強会を実施します。得られた知見は、地域内外の食品製造事業者へ提供し、付加価値の高い地場産品の製造に活用します。

また、専門機関や大学、地域事業者等との連携を図り、産官学連携による商品開発につながる取組を展開し、新たな技術活用や高付加価値商品の創出を目指します。

## Ⅲ．需要開拓事業（公益目的事業１）

### 1．丹後ブランド商品認定事業

### （1）Tango Good Goods 認定事業

本事業は開始以来 28 年目を迎え、令和 8 年度も引き続き実施します。製造者の「ものづくり」を奨励・支援するとともに、「売れる商品づくり」の視点を重視し、販路開拓の実効性を高めていきます。また、「Tango Good Goods（丹後ブランド）認定商品」のコンセプトを再整理し、認定事業が市場で評価されるようブランド力の強化及びイメージの定着を推進します。

併せて、流通の拡大及び需要の開拓を促進するため、以下の取り組みを行います。

・Tango Good Goods 認定推進委員会の開催
・Tango Good Goods 認定商品の募集
・Tango Good Goods 審査会の開催
・令和 8 年度認定商品の BtoB カタログ作成及びバイヤーへの配布

また、認定商品への Tango Good Goods ロゴシールの貼付指導を推進するとともに、認定事業者間の連携及び情報共有を促進し、地域ブランド商品としての差別化を強化します。

**（令和８年度目標）新規認定事業者 8 事業者の確保**
**（参考：令和 7 年度 6 事業者）**

### （2）「丹後のええもん うまいもん展（丹後地域）」開催事業

丹後地域において、「Tango Good Goods」認定商品を中心とした地場産品の展示・販売促進を目的として、「第 28 回 丹後のええもん うまいもん展」（見本市）を開催します。

本事業は、認定商品を一堂に集め、小売店などとの商談につなげる「見本市」としての機能と、地域住民や来訪者に向けた「販売の場」としての役割を兼ね備えています。商品の販売を通じて市場の評価を直接確かめるとともに、消費者ニーズの把握や商品の改良へとつなげ、継続的な販路拡大を図ります。

### （3）Tango Good Goods 販路開拓支援事業（重点取組）

都市部のショッピングモール等において、Tango Good Goods 認定商品の販売機会を創出し、実売を通じたテストマーケティングを実施します。消費者及び小売業者のニーズや購買動向を把握するとともに、販売実績データを蓄積し、商品力の検証を行います。

その結果をもとに、商品の改良及びブラッシュアップを図り、継続的な取引及び販路拡大につなげます。

また、事業終了後には成果発表及び報告会を開催し、出店した事業者の取組や販売結果を共有するとともに、他の地域事業者にも情報提供を行い、成功事例の横展開及び事業者間の連携強化を図ります。

## 2.「Tango Good Goods 認定事業者会」の発足による販路開拓（重点取組）

これまで一部事業者で構成してきた「京都丹後ブランド産品会」を廃止し、Tango Good Goods 認定事業者全体を対象とする「Tango Good Goods 認定事業者会（以下「認定事業者会」）」を新たに発足させます。

従来は参加事業者が限定的であったため、販路開拓や情報共有の効果が十分に広がらない側面がありました。令和 8 年度は、全認定事業者を対象とする体制へ移行し、事業者間の連携及び情報共有を強化します。

新組織のもと、都市圏でのテスト販売や商談会参加、販売実績の共有を一体的に実施し、認定が販路拡大につながる仕組みを構築します。これにより、地域産品の競争力強化及び売上拡大を目指します。

### 3. 地域特産品販路開拓事業

#### （1）地場産品販路開拓支援事業

都市部における特産品ショップや卸事業者等への企業間取引（BtoB）による販路開拓を推進するとともに、行政や金融機関等が主催する商談会へ積極的に参加し、継続的な取引につながる販売先の確保を目指します。

また、バイヤーのニーズや商談結果を踏まえた商品改良に関する情報を事業者へ提供し、市場ニーズに合致したものづくりを促進することで、安定的な販路拡大を支援します。

#### （2）「丹後のええもん うまいもん展（都市圏開催）」開催事業

認定事業者会と連携し、京都・大阪をはじめとする都市圏において、丹後産品の販売促進及び地域 PR を目的とした「丹後のええもん うまいもん展（都市圏開催）」を実施します。

都市圏での開催を通じて新規顧客層の開拓を図るとともに、販売実績及び消費者の反応を今後の商品改良及び販路戦略に活かし、継続的な販路拡大につなげます。

#### （3）丹後王国「食のみやこ」との連携による丹後産品流通支援事業

道の駅丹後王国「食のみやこ」と連携し、同施設内で物流機能を担う株式会社丹後王国ブルワリーの出荷機能等の流通網を活用して、丹後産品の共同出荷体制を構築します。これにより、事業者の出荷負担の軽減及び域外販路の拡大を図ります。

### 4. 染色体験・手機体験事業

観光客等が地域資源である丹後ちりめんや織物に触れ、理解を深める機会を創出するため、「網野染色研究会 茜」及び「網野機業組合」と連携して体験事業を実施し、地域産業の魅力を発信するとともに関連商品の販売促進を図り、誘客につなげます。

## Ⅳ. 情報収集・提供事業（公益目的事業１）

### 1. 販売動向分析・提供事業

地場産センターの展示即売室（売店）における販売データの収集及び分析を通じ、製造者の経営支援及び販路戦略の高度化を図ります。

売店での販売データを詳細に分析し、売れ筋商品の動向や消費者の購買傾向を「アミティ情報」として整理し、事業者へ定期的に提供します。これにより、売店に納品している事業者へ具体的な改善提案を行い、商品改良及び販売力向上につなげます。

### 2. ホームページ等による地域資源発信事業

地場産センターのオフィシャルホームページを通じて、地域情報、地場産センター情報、産品情報及び地域企業情報を発信します。また、SNS を効果的に活用し、ホームページへの誘導を図るとともに、最新情報を迅速に提供します。

さらに、事業者から提供された商品情報を整理・分析し、AI 等のデジタル技術を活用して売上につながる効果的な見せ方に整えた上で発信することで、丹後産品の認知度向上及び販路拡大につなげます。

### 3. 物産展等の販売機会情報収集・提供事業

各地域の地場産センターや地域内外のイベント、物産展等の販売機会に関する情報を収集し、Tango Good Goods 認定事業者会へ提供します。併せて、参加条件や出展方法等についても情報共有を行い、事業者の積極的な出展を促すことで、販売機会の創出及び販路拡大を支援します。

### 4. DX 推進事業（重点取組）

デジタル技術を活用し、地場産品製造事業者及び地場産センター業務の効率化並びに経営管理の高度化を図るため、DX の推進に取り組みます。

また、売店における商品管理についても、バーコード等を活用した在庫管理の導入を積極的に検討し、販売数量及び在庫状況をリアルタイムで把握できる体制の構築を目指します。これにより、適切な発注判断及び欠品防止を図り、販売機会の損失を防止します。

さらに、売店の販売データを活用し、AI 等による分析を通じて売れ筋商品の傾向把握及び需要予測を行い、事業者へ具体的な改善提案を行うとともに、販売力向上につなげます。

## V. 地場産品展示普及支援事業（公益目的事業１）

### 1. 地場産品常設展示・販売拠点の強化

地場産センターの重要な機能である地場産品の常設展示即売事業を継続するとともに、販売拠点としての機能充実を図ります。地域産品の総合展示場として、「丹後ちりめん」をはじめ約 3,000 品目の地場産品を展示・販売しています。

令和 7 年度は、外部アドバイザーの助言を受けながら売場レイアウトの改善を複数回実施し、商品訴求力の向上及び万引き防止等の効果が見られました。

令和 8 年度は、これらの成果を踏まえ、さらなる売場改善を進めるとともに、加工支援センター商品コーナーの充実及び事業者間のコラボ商品の開発促進を図り、売れる売場づくりを強化します。

また、令和 7 年 9 月に設置された「丹後ええもん工房」の「小さな美術館」と連動した展示及び販売展開を行い、来館者の回遊性向上及び購買機会の拡大につなげます。

**（令和 8 年度目標）展示即売室（売店）売上高 6,000 万円の達成**
**（参考：令和 8 年 1 月末現在 4,500 万円）**

### 2. コウノトリ但馬空港丹後産品情報発信事業

令和 7 年 6 月よりコウノトリ但馬空港内に丹後産品コーナーを設置し、但馬地域及び空港利用者に対する丹後産品の情報発信及び販売を行っています。本取組は府外で初めてのサテライト販売ブースの設置であり、新たな販路開拓及び丹後地域への集客につながる試みとなっています。

令和 8 年度は、販売実績及び消費者動向の分析を踏まえ、取扱商品の充実及び売場改善を図るとともに、継続的な販売拡大及び地域間交流の促進につなげます。

### 3. 丹後産品情報発信事業（重点取組）

一般消費者向けギフトカタログ（中元・歳暮の 2 種）については、近年売上が減少している状況を踏まえ、事業の立て直しを図ります。単なる配布型の広報にとどまらず、受注につながる仕組みへの再設計を行い、消費者ニーズに対応した商品構成の見直し及び販売方法の改善を進めます。

また、ふるさと納税制度及び EC サイトの活用を強化し、個々の事業者では対応が難しいセット商品の企画開発や見せ方の工夫を進め、販売単価の向上及び購入機会の拡大を図ります。オンライン販売施策については、商品入替や季節提案を含めた運用改善を行い、売上回復につなげます。

## VI. 会館提供・コミュニティ事業（収益事業 1）

### 1. 会場提供事業

地場産センター施設を地域住民、企業及び団体等の会議、研修会、展示会等の用途で貸し出し、地域コミュニティの場としての役割を果たすとともに、安定的な収益確保に努めます。

平成 27 年以降改定していない施設利用料については、社会情勢及び維持管理コストの動向を踏まえ、適正な水準への見直しを検討します。また、会場使用申込から請求管

理までの手続きの DX 化についても検討し、利用者の利便性向上及び業務効率化につなげます。

併せて、施設設備の保全及び環境整備を行うとともに、老朽化への計画的な対応及び設備・機材の適切な維持管理を徹底し、安全で快適な利用環境の確保に努めます。また、活用事例やイベント情報の発信を通じて利用促進を目指します。

### 2. 地域コミュニティ事業

丹後緑風高等学校網野学舎企画経営科が実施している、地域事業者と連携した新商品開発及び観光コンテンツ造成を目的とする「恐丹後お化け屋敷」について、令和 8 年度も共催し、内容の充実を図ります。

新たなコンテンツの導入検討及び地域事業者との連携強化を進めるとともに、次世代の若い力を地域産業の振興及び施設活性化につなげ、来場者の増加及び販売機会の創出を目指します。これにより、施設利用の拡大及び地域の賑わい創出につなげます。

## Ⅶ　誘客販売事業（収益事業２）

### 1. 誘客事業

来館者のニーズを的確に捉え、人気の野菜販売コーナーの品揃え及び鮮度管理の充実を図るとともに、手軽なお土産品の展開も強化します。また、令和 7 年度と同様に、お客様目線で店舗レイアウトの見直しを継続し、陳列商品の視認性向上及び購買意欲の喚起を図ることで、販売機会の拡大につなげます。

併せて、地域の旅館や DMO 等と連携し、観光客への情報発信及び来館誘導を強化し、地元客と観光客双方の来店動機を高めます。

### 2. たんご朝市の開催

たんご朝市は開設 25 年を迎え、新鮮で安心・安全、そして美味しい食品を提供する場として、地域住民及び観光客から高い評価を得ています。

一方で、出品者の高齢化により出品量の減少や売上の伸び悩みといった課題も顕在化しています。令和 8 年度は、直売方式の特色を維持しつつ、新規出品者の開拓及び若手生産者の参加促進を図り、来場者の維持及び販売額の回復に努めます。

### 3. アミティ丹後感謝祭の開催

地域の皆様への感謝の気持ちを込め、たんご朝市会と共催で「100 円模擬店」を開催します。また、丹後緑風高等学校網野学舎及び京丹後市立網野中学校の各吹奏楽部に発

表の場を提供するとともに、「網野染色研究会 茜」による作品展の開催などを通じて、地域のにぎわい創出を図ります。

一方で、天候等により来場者数が左右される課題や、100 円模擬店は直接的な収益につながりにくい側面もあります。令和 8 年度は、館内販売への誘導や関連商品の販売強化などを工夫し、誘客効果をセンター全体の利用及び売上向上につなげる取組を進めます。

## Ⅷ　丹後地域外食品加工受託（収益事業 3）

加工支援センター（新商品・新技術開発支援事業）の設備を活用し、丹後地域外からの製造依頼に対応するとともに、安定した収益確保を目指し、試作中心の案件だけでなく、継続的な製造が見込まれる既製品の受託獲得に注力します。問い合わせ内容を精査し、定期製造につながる案件を重点的に確保することで、加工センターの稼働率向上及び収益基盤の強化を図ります。

## Ⅸ　管理事業

### 1．理事会・評議員会の開催

丹後地域地場産業振興センターの適正かつ円滑な運営を確保するため、理事会及び評議員会を開催します。

#### （1）定時理事会

令和 8 年 5 月　　令和 7 年度事業・決算報告 ほか

令和 9 年 3 月　　令和 9 年度事業計画・予算案 ほか

#### （2）定時評議員会

令和 8 年 6 月　　令和 7 年度事業・決算報告 ほか

評議員・理事・監事の選任

# 正味財産増減予算書

令和8年4月１日から令和9年3月31日まで

| 科目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| Ⅰ一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1)経常収益 | | | |
| 基本財産運用益 | 75,000 | 600 | 74,400 |
| 基本財産受取利息 | 75,000 | 600 | 74,400 |
| 事業収益 | 104,669,000 | 98,627,000 | 6,042,000 |
| 受講料収益 | 576,000 | 576,000 | 0 |
| 手数料収益 | 750,000 | 750,000 | 0 |
| 会場使用収益 | 10,000,000 | 9,500,000 | 500,000 |
| 受取受託産品頒布収益 | 77,105,000 | 72,505,000 | 4,600,000 |
| 受取受託商品販売収益 | 200,000 | 200,000 | 0 |
| 食品加工収益 | 14,828,000 | 14,125,000 | 703,000 |
| 展示小間収益 | 120,000 | 120,000 | 0 |
| 食堂施設貸付料収益 | 720,000 | 720,000 | 0 |
| 認定シール交付収益 | 130,000 | 130,000 | 0 |
| 雑収益 | 240,000 | 1,000 | 239,000 |
| 受取補助金等 | 56,936,192 | 58,645,465 | △ 1,709,273 |
| 受取京都府補助金 | 7,124,000 | 7,124,000 | 0 |
| 受取市町補助金 | 36,800,000 | 38,000,000 | △ 1,200,000 |
| 受取補助金等振替 | 13,012,192 | 13,521,465 | △ 509,273 |
| 受取負担金 | 2,497,000 | 2,585,000 | △ 88,000 |
| 受取負担金 | 2,497,000 | 2,585,000 | △ 88,000 |
| 雑収益 | 51,000 | 51,000 | 0 |
| 受取利息 | 1,000 | 1,000 | 0 |
| 手数料収益 | 50,000 | 50,000 | 0 |
| 経常収益計 | 164,228,192 | 159,909,065 | 4,319,127 |
| (2)経常費用 | | | |
| 事業費 | 158,607,391 | 153,348,796 | 5,258,595 |
| 役員報酬 | 4,903,000 | 4,903,000 | 0 |
| 給料手当 | 24,659,000 | 23,743,000 | 916,000 |
| 賃金 | 5,683,000 | 5,454,000 | 229,000 |
| 福利厚生費 | 6,421,000 | 6,217,000 | 204,000 |
| 退職給付引当費 | 47,000 | 47,000 | 0 |
| 旅費交通費 | 321,000 | 198,000 | 123,000 |
| 通信運搬費 | 1,054,000 | 1,154,000 | △ 100,000 |
| 什器備品費 | 100,000 | 259,000 | △ 159,000 |
| 消耗品費 | 1,228,000 | 1,168,000 | 60,000 |
| 修繕費 | 861,000 | 700,000 | 161,000 |
| 印刷製本費 | 1,131,000 | 1,126,000 | 5,000 |
| 燃料費 | 180,000 | 180,000 | 0 |
| 光熱水料費 | 9,764,000 | 9,856,000 | △ 92,000 |
| 賃借料 | 2,579,000 | 1,953,000 | 626,000 |
| 保険料 | 888,000 | 921,000 | △ 33,000 |
| 租税公課 | 6,949,000 | 6,949,000 | 0 |

| 科目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 負担金 | 0 | 60,000 | △ 60,000 |
| 委託費 | 16,116,000 | 16,142,000 | △ 26,000 |
| 広告宣伝費 | 679,000 | 688,000 | △ 9,000 |
| 保守料 | 360,000 | 360,000 | 0 |
| 普及促進費 | 353,000 | 353,000 | 0 |
| 手数料 | 1,070,000 | 966,000 | 104,000 |
| 諸謝金 | 253,000 | 198,000 | 55,000 |
| 教材費 | 175,000 | 175,000 | 0 |
| 会場整備費 | 1,015,000 | 1,000,000 | 15,000 |
| 受託産品費 | 58,440,000 | 55,310,000 | 3,130,000 |
| 受託商品費 | 160,000 | 160,000 | 0 |
| 原材料費 | 681,000 | 0 | 681,000 |
| 雑費 | 55,000 | 55,000 | 0 |
| 減価償却費 | 12,482,391 | 13,053,796 | △ 571,405 |
| 管理費 | 5,893,625 | 6,410,625 | △ 517,000 |
| 役員報酬 | 369,000 | 369,000 | 0 |
| 給料手当 | 1,463,000 | 1,409,000 | 54,000 |
| 福利厚生費 | 364,000 | 352,000 | 12,000 |
| 退職給付引当費 | 3,000 | 3,000 | 0 |
| 会議費 | 10,000 | 10,000 | 0 |
| 旅費交通費 | 237,000 | 237,000 | 0 |
| 交際費 | 21,000 | 21,000 | 0 |
| 通信運搬費 | 122,000 | 125,000 | △ 3,000 |
| 什器備品費 | 20,000 | 20,000 | 0 |
| 消耗品費 | 100,000 | 176,000 | △ 76,000 |
| 修繕費 | 150,000 | 400,000 | △ 250,000 |
| 光熱水料費 | 964,000 | 938,000 | 26,000 |
| 賃借料 | 185,000 | 275,000 | △ 90,000 |
| 保険料 | 49,000 | 51,000 | △ 2,000 |
| 租税公課 | 323,000 | 323,000 | 0 |
| 負担金 | 147,000 | 147,000 | 0 |
| 委託費 | 496,000 | 684,000 | △ 188,000 |
| 諸謝金 | 65,000 | 65,000 | 0 |
| 雑費 | 3,000 | 3,000 | 0 |
| 減価償却費 | 802,625 | 802,625 | 0 |
| 経常費用計 | 164,501,016 | 159,759,421 | 4,741,595 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | △ 272,824 | 149,644 | △ 422,468 |
| 評価損益等計 | | 0 | 0 |
| 当期経常増減額 | △ 272,824 | 149,644 | △ 422,468 |

| 科目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1)経常外収益 | | | |
| 経常外収益計 | | 0 | 0 |
| (2)経常外費用 | | | |
| 過年度経費 | | 0 | 0 |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 272,824 | 149,644 | △ 422,468 |
| 一般正味財産期首残高 | 14,973,261 | 17,410,449 | △ 2,437,188 |
| 一般正味財産期末残高 | 14,700,437 | 17,098,473 | △ 2,859,656 |
| Ⅱ指定正味財産増減の部 | | | |
| 受取京丹後市補助金 | 0 | 0 | 0 |
| 一般正味財産への振替額 | △ 13,012,192 | △ 14,046,533 | 1,034,341 |
| 当期指定正味財産増減額 | △ 13,012,192 | △ 14,046,533 | 1,034,341 |
| 指定正味財産期首残高 | 127,654,246 | 150,945,211 | △ 23,290,965 |
| 指定正味財産期末残高 | 114,642,054 | 137,164,052 | △ 22,256,624 |
| Ⅲ正味財産期末残高 | 129,342,491 | 154,262,525 | △ 25,116,280 |

※運営資金短期借入金限度額 5,000,000円